



地域支援センター「みみらんど・郡山」

平成28年度 きこえとことばの基本研修会



第2回②「コミュニケーションモードについて」

8月24日(水)、第2回きこえとことばの基本研修会が行われ、飯塚和也教諭による「コミュニケーションのモードとコード」や「日本語習得について」の講話がありました。



コミュニケーションとは？

社会生活上、言語・文字・身振りなどを媒介として、互いに意思や感情、思考を伝達しあうこと。

モードは 意思や感情・思考を伝える方法
(コミュニケーション手段)

- ①音を使ったモード→音声
- ②視覚を使ったモード→文字・手話・指文字
- ③触覚を使ったモード
→点字・触手話・手書き文字

コードは 意思や感情・思考を伝えるルール(文法)

日本語を習得するために

◇日本語の音韻情報を丁寧に！！

日本語を習得する為には、音韻情報を正しく認識させる必要がある。

指文字、文字、音声、読話、キュードスピーチが有効

◇日本語に触れる機会・使う機会を増やす工夫を！！

語彙力を高める為には、言葉を本来の意味で教えることが大切

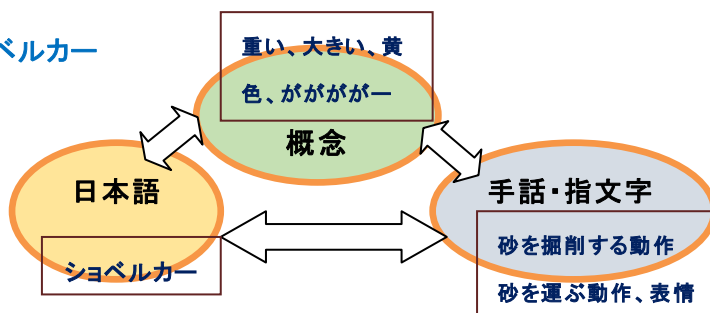
(例) 桃太郎は、いさんで鬼ヶ島に向かいました。



桃太郎は、元氣に鬼ヶ島に向かいました。
いろいろなことば、言い回しを意図的に使う。

チェーンメソッド

例) ショベルカー



日本語、概念、手話・指文字 この、3つのつながりが大切！！

＜参加者の感想＞

○担当する子供のコミュニケーションモードについて考えさせられた。

○場面や子供に合わせたコード・モードを使い分けることの大切さが分かった。また、音韻情報を意図的に入れていく大切さが分かったので、早速、取り入れてみたい。